

対ブルキナファソ 事業展開計画

2017年4月現在

基本方針 (大目標)	成長の加速化と人的資本の強化
---------------	----------------

重点分野 1 (中目標)	農業開発													
開発課題 1 (小目標) 農業開発の推進	【現状と課題】 農業はGDPの約3割、就労人口の約8割を担っている。また、総人口の約8割及び貧困人口（人口全体の43.9%）の約9割が農村地域に居住し、食料安全保障や貧困削減の観点からも重要なセクターであり、国家経済社会開発計画（PNDES）においても、第3の柱「富と雇用を創出するあらゆるセクターの再活性化」において農業を成長の加速化の優先セクターとして位置付けている。同国は金・綿花が輸出の多くを占めるが（両財の対GDP比は約2割）、両財は国際価格の変動の影響を受けやすいため、安定的かつ持続的な経済成長の実現のためには産品への高付加価値化と域内消費振興、輸出産品の多様化が課題となっている。また、同国はサヘル地帯の厳しい気候にあり、さらに近年の気候変動の影響を受け頻繁な食料危機に見舞われている。特に都市部を中心として米の需要が増加している一方、食料自給率は約4割と低調であり、食料安全保障の点からも、米の生産・流通増に向けた努力が必要となっている。			【開発課題への対応方針】 産業振興は開発のエンジンであるという認識の下、全就労人口の約8割を占める農業開発に焦点を当てた支援を展開する。具体的には、輸出の潜在可能性も踏まえた農業生産物の多様化、高付加価値化等により農業従事者の所得の安定及び向上を図り、経済成長の加速化を支援する。また、気候変動による干ばつ等に対応するため、「アフリカ稲作振興のための共同体（CARD）」による稲作支援等を実施し、食料安全保障を促進するとともに、教育分野等とも連携し、「食と栄養のアフリカ・イニシアティブ（IFNA）」による栄養改善に取り組む。										
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考		
					2016 年度 以前	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度				
		農産品多様化推進プログラム(強化プログラム)	ゴマ生産支援プロジェクト	技プロ								5.92		
			全国低湿地開発計画策定プロジェクト	開発計画								2.18		
			農業・農村開発政策アドバイザー	個別専門家								0.35		
			ブルキナファソ産リン鉱石を用いた施肥栽培促進モデル構築プロジェクト	科学技術								3.70		
			大豆バリューチェーン強化	個別専門家								0.15		
			農業分野の青年海外協力隊	JOCV										
			農業分野の課題別研修	課題別研修										
	食糧生産性と現金収入向上のための住民目線に立った普及サイト創出及び活用プロジェクト		草の根技協											
	農業分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力		草の根無償								0.09			
	高付加価値ササゲ品種の開発とその種子の生産システムによる普及の迅速化と有効性検証－大規模普及スキームの開発－		マルチ									農林水産省国際熱帯農業研究所 (ITTA) 拠出金事業		

重点分野2 (中目標)	教育の質の向上											
	<p>【現状と課題】 基礎教育10カ年開発計画(PDDEB, 2001-2011)は、都市と農村部の格差を広げつつも、全体としては、同計画の終了年となる2011年には小学校初等教育就学率80.7%を達成し、初等教育へのアクセス向上については一定の成果を残したと言える。他方、サブサハラ周辺諸国との比較においては依然として就学率を含む基礎教育指標は低く、また、従来問題視されてきた教育環境や学習内容といった教育の質は、初等教育へのアクセスが急速に拡大したことを受けてさらに問題が深刻化している。更に、中学校への進学は主にインフラ不足が原因で非常に限定的なものに留まっており、小学校から中学校への進学を担保し、基礎教育としての一貫性を確保していくことが今後の大きな課題となっている。こうした問題が次期基礎教育開発戦略政策(PDSEB, 2012-2021年)で取り組むべき最重要課題のひとつとして扱われている他、国家経済社会開発計画(PNDES)においても、第2の柱「人的資本の開発」において教育の質の改善が謳われている。なお、初等教育就学人口は2020年には現在の約1.8倍に増加することが見まれており、教育の質や中学校へのアクセスといった課題は今後より深刻さを増してくることが予想され、初等教育のアクセス拡充ニーズも引き続き存在する。</p>					<p>【開発課題への対応方針】 ブルキナファソ政府は基礎教育開発戦略政策(PDSEB, 2012-2021)に基づき基礎教育の一貫性を確保し、子供たちの就学促進及び教育の質の改善に取り組んでいるものの、主にインフラ不足が原因で中学校への進学は限定的であり、また、小学校へのアクセスの急拡大により教育環境は悪化し、教育の質確保の重要性は増している。我が国はこれらの課題及び我が国の教育支援の基本戦略である「平和と成長のための学びの戦略」を踏まえ、中学校への就学促進及び教育の質改善に貢献する。</p>						
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
<p>開発課題2 (小目標) 教育の質の向上</p>		<p>児童・生徒と教員のための基礎教育の質向上プログラム(強化プログラム)</p> <p>教育環境や教育内容といった教育の質の改善や、限定的な中学校への進学率の向上等の課題への取り組みを通じ、次期基礎教育10カ年開発計画の実現を支援していく。</p>	<p>カヤ初等教員養成校建設計画</p> <p>学校運営委員会支援プロジェクト フェーズ2</p> <p>地方分権化における教育の質向上のためのコミュニティ参加強化プロジェクト</p> <p>公立教員養成校実践的教育能力強化プロジェクト</p> <p>政策アドバイザー(教育)</p> <p>中学校校舎建設計画</p> <p>第二次中学校校舎建設計画準備調査</p> <p>基礎教育課程における教育システム能力強化</p> <p>教育分野の課題別研修</p> <p>教育分野の青年海外協力隊</p> <p>教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力</p>	<p>無償</p> <p>技プロ</p> <p>技プロ</p> <p>技プロ</p> <p>個別専門家</p> <p>無償</p> <p>協準</p> <p>国別研修</p> <p>課題別研修</p> <p>JOCV</p> <p>草の根無償</p>	2016年度以前	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	16.71	
											3.27	
											2.13	
											11.51	
											0.35	
											0.09	

	その他											
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
					2016 年度 以前	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度		
その他	その他個別案件		第二次中央プラトー及び南部中央地方飲料水供給計画	無償							9.68	
			保健社会向上センター建設計画	無償							14.01	
			村落給水施設管理・衛生改善プロジェクトフェーズ2	技プロ							4.95	
			食糧援助	食糧援助							3.70	
			アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ (ABEイニシアティブ) 「修士課程およびインターンシップ」プログラム	国別研修								
			その他分野の課題別研修	課題別研修								
			その他分野の青年海外協力隊	JOCV								
			保健分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.18	
			水・衛生分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.06	
			ブルキナファソにおける政治社会的・制度的危機に対する若年層への積極的かつ緊急的雇用創出	マルチ							0.5百万USD	国連開発計画 (UNDP)
			サヘル地域における食料支援及び強靱性強化	マルチ							1百万USD	国連世界食糧計画 (WFP)
			マリ難民への人道的支援と社会的自立支援及び平和的共存	マルチ							1百万USD	WFP
			サヘル地域及びマリ、ニジェールとの国境地域における、子どものための統合的 社会援助を通じた家族、コミュニティー、組織の緊急準備対応力、強靱性の強化	マルチ							1.9百万USD	国連児童基金 (UNICEF)
			サヘル地域における女性と子供の人権促進のための平和で強靱な共同体作り	マルチ							0.64百万USD	UNICEF
			ブルキナファソにおけるマリ難民の保護及び支援	マルチ							1.5百万USD	国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)
			サヘル諸国を対象とした汚職防止プログラム	マルチ							総額 0.3百万USD (サヘル諸国 対象)	国連訓練調査研究所 (UNITAR)
サヘル地域における平和と安全のための女性のリーダーシップ強化支援	マルチ							総額 1百万USD (サヘル諸国 対象)	ジェンダー平等と女性のエンパワーメントのための国連機関 (UNWomen)			

【凡例】 「協準」 (=全ての協力準備調査)、「詳細設計」 (=詳細設計)、「技プロ」 (=技術協力プロジェクト)、「開発計画」 (=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」 (=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」 (=青年海外協力隊)、「SV」 (=シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」 (=科学技術協力 (技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」 (=草の根技術協力)、「〇〇省技協」 (=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」 (=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」 (=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」 (=水産無償資金協力)、「食糧援助」 (=食糧援助)、「一般文化」 (=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」 (=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」 (=緊急無償資金協力)、「日本NGO」 (=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」 (=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」 (=円借款、海外投融资)、「マルチ」 (=国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「中小企業支援」 (=中小企業海外展開支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」及び「普及・実証事業」、並びに中小企業連携促進基礎調査、実線「——」 (=実施期間)、破線「----」 (=実施予定期間)